

血液透析濾過（Hemodiafiltration）および透析の透析膜（ダイアライザー）の

違いが透析中に実施する運動療法の効果に与える影響：

過去基点多施設コホート研究

矢部広樹^{*,1)}

1) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部理学療法学科

【目的】HD と HDF の違いは溶質除去、アルブミンの漏出、尿毒症や低栄養などに影響し、それらは運動療法の効果に影響する可能性がある。本研究の目的は、多施設コホートデータから、HD と HDF の違いが透析中の運動療法の効果に与える影響を検討することである。

【方法】10 施設の透析患者 414 名に対して透析中のレジスタンス運動を 6 ヶ月実施し、介入前後の 10m 歩行速度、膝伸展筋力、Alb、nPCR、%CGR を測定した。そして、HD 群と HDF 群に分けた後、傾向スコアマッチングにより背景因子を調整し、各指標の介入前後の変化量 (Δ) を算出した。統計学的検討として、群内の前後比較に対応のある t 検定、 Δ の群間比較に対応のない t 検定を行った。有意水準は危険率 5%とした。

【結果】傾向スコアマッチングにより 71 ペアが抽出された。群内比較において、HD 群は 6 ヶ月後に 10m 歩行速度、膝関節伸展筋力が有意に向上し、%CGR が低下していた。HDF 群は 6 ヶ月後に 10m 歩行速度、膝関節伸展筋力、nPCR、%CGR が有意に向上していた。群間比較では、HDF 群は HD 群よりも Δ Alb が有意に小さく、 Δ %CGR が有意に大きかった。

【考察】HDF 群は、HD 群よりも Alb の増加が小さいにも関わらず、筋肉量の指標である %CGR が有意に向上し、また身体機能の改善も HD 群と同様に見られた。HDF による Alb の漏出が身体機能の向上に与える影響は小さく、むしろ運動療法と HDF の併用は、蛋白摂取や筋肉量の改善に影響する可能性が示された。